

## 第6章 計画推進のために

### 1. 「いきいきプラン推進委員会」の設置

本活動計画を推進するためには、実施状況を分析、評価し、中野区における地域福祉の課題を抽出、明確化して、毎年度、計画の方向性を確認していくことが必要です。

また、本活動計画では、既存の福祉サービスで解決できない方の課題や地域で解決しにくい課題に取り組むことが重点事業となっているため、課題によっては、新たなサービスの開発や仕組みの創設などに取り組む必要があります。そのためには、多くの関係機関・団体の連携、協力が不可欠となります。

本活動計画策定後は、第3次中野区民地域福祉活動計画策定委員会を母体にして、関係機関・団体、区民で編成された「いきいきプラン推進委員会」を新たに設置し、進捗状況の確認や課題についての分析・評価を行うこととします。また、2019（平成31）年度以降の第2期実施計画の策定もこの委員会が中心となり策定にあたります。

### 2. 計画の評価・分析方法について

「いきいきプラン推進委員会」において、まず実施計画の評価項目、基準を明確にします。評価については、参加人数や件数など数量的な評価だけでなく、関係する区民、団体へのアンケートやヒアリング、場合によっては事例検討をすすめ、取り組み後の変容なども考慮して、その有効性などを確認していきます。また、そこから抽出された課題については、分析を進め、本活動計画の取り組みや展開方法について軌道修正することも行います。

### 3. 計画を支える中野区社会福祉協議会の強化・発展方針

中野社協は本活動計画の事務局として区民を支援し、推進する重要な役割を担っています。第1期実施計画には中野社協が区民とともに取り組む事業が明記されています。この取り組みを進め、区民の活動を支えていくためには、中野社協の組織基盤の強化・発展が欠かせません。このたび、「経営改善計画2014～2018」を策定し、①財政基盤の強化、②組織運営体制の強化、③地域から必要とされる職員の育成等について重点的に取り組みます。また、効率的・効果的な事務事業の推進とともに、PDCAサイクルを確立し、効果の薄い事業については、廃止あるいは縮小するなど既存事業の見直しを行っていきます。